

エアーラインキット AL-951 取扱説明書

OM-K0132

1 注意事項

- (1) 使用流体は、圧縮空気を使用して下さい。
- (2) 最高使用エアー圧力は、 9.9 kg f / cm^2 (0.99 Mpa) 以下で使用して下さい。
- (3) 取り付けは垂直に取り付け、振動や揺れの大きな場所には取り付けないで下さい。
- (4) エアーラインキットの中には、ポリカーボネイトを使用していますのでシンナー、クロロホルム、トリクロールエチレン、酢酸エステル、硫酸、アルカリ水溶液等の化学薬品の使用、あるいは雰囲気中での使用は避けて下さい。

2 特徴

- (1) フィルターにより圧縮空気中の水分、不純分を除去します。
- (2) レギュレーターにより、正確かつ安定した圧力を得ることができます。
- (3) ルブリケータにより、圧縮空気中に潤滑油を霧状に浮遊させエアーモーター内に送り、潤滑を良くし寿命を大幅に伸ばすことができます。
- (4) フィルター内に溜った水は、自動で排出するオートドレン機構付です。
- (5) ルブリケータには、オイル不足を知らせるブザーが付きます。

3 仕様

最高使用圧力	9.9kgf/cm ² (0.99Mpa)
保証耐圧力	15kgf/cm ² (1.5Mpa)
液体温度	5 ~ 65℃

エアーフィルター

ろ過度	5μm
-----	-----

レギュレータ

設定圧力範囲	0.3~8.5kgf/cm ² (0.03~0.85Mpa)
リリーフ圧力	設定圧力プラス 1.2kgf/cm ² (0.12Mpa)

ルブリケータ

使用油	シェル オンジナオイル#15又はタービン油1種、ISO VG15 (スピンドル油使用不可)
貯油量	220cm ³
最小滴下流量	30ℓ/min

電磁弁

作動圧力差範囲	6.0kgf/cm ² (0.6Mpa)		
絶縁種別	B種		
弁座漏れ	0.2cm ³ /min 以下		
定格電圧	DC 24V		
		50Hz	60Hz
定格電力	保 持 時	7.5VA	5.5VA
	起 動 時	20VA	17VA
消費電力	6.5W		

ブザー

電源電圧	AC/DC 24V
音 圧	80ホーン/m

4 各部の名称

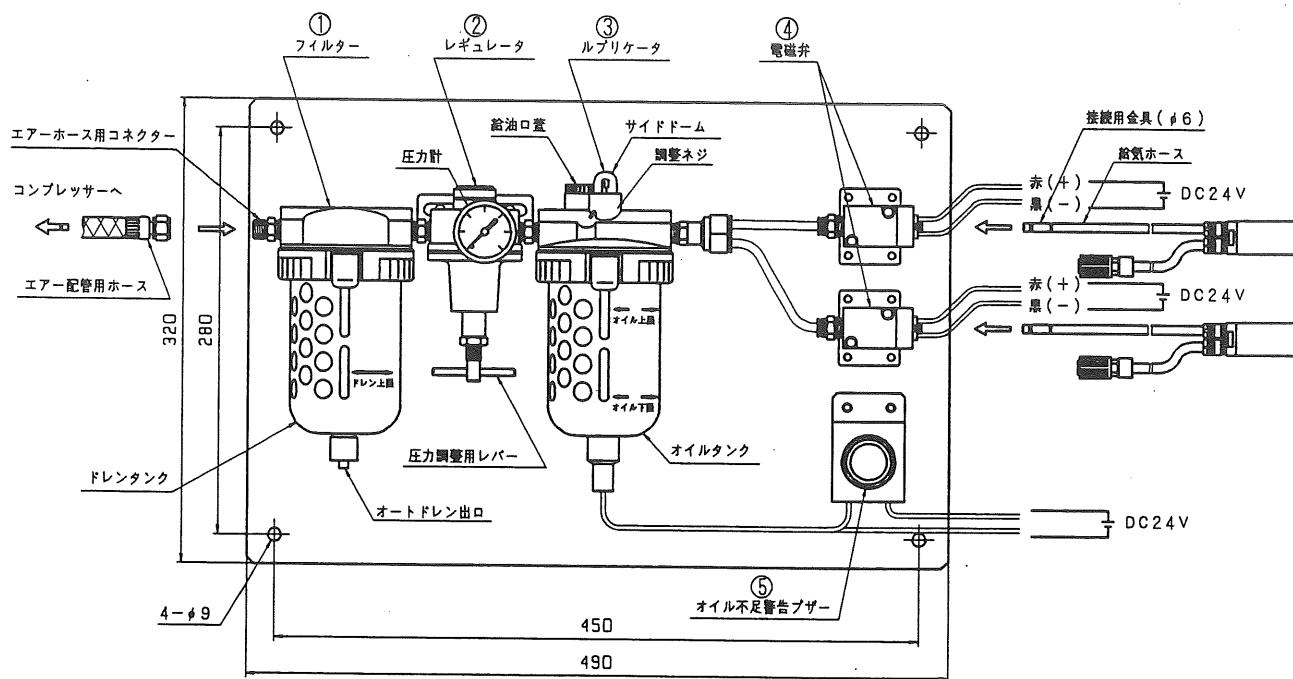


図 — 1

5 各部の使用説明

①フィルター

圧縮空気中のダストや水分を分離し、分離されたドレンはプラスチックボウル内部に溜ります。
プラスチックボウル内のドレンは、ドレン上限まで溜るとオートドレン出口より自動排出されますので、ドレンが直接排水されてだめな場合には、オートドレン出口にホースを接続して別の場所に排出させて下さい。

②レギュレーター

空気圧の調整は、レギュレータ下部の圧力調整用レバーを時計方向に回すことにより設定圧力が高くなりますので、圧力計を見ながら調整して下さい。

③ルブリケーター

給油する時は、コンプレッサーからのエアを止めて加圧されていないことを確認してから、給油口フタを反時計方向に回してフタを外し、付属のオイル（シェル オンジナオイル#15）をオイルタンクのオイル上限まで入れて下さい。
オイルタンク内のオイルが不足すると、オイル不足警告ブザーがなりオイル不足を知らせますので、ブザーがなった場合は上記方法で給油して下さい。

④電磁弁

2ポート直動形電磁弁（通電時開形）を使用しています。
DC24Vを接続することにより作動します。

注意）許容電圧変動範囲は、定格電圧の±10%以内で使用して下さい。

⑤オイル不足警告ブザー

DC24Vを接続することにより、ルブリケーターのオイルが不足するとブザーが鳴ります。

6 取り付け方法

- ① ベース板の取り付けは、取り付け面が平らな面の場合、ベース板裏面に機器取り付け用ナットが出ていますので、ボルトM8に付属のスペーサを付けて垂直に取り付けて下さい。（図-2）

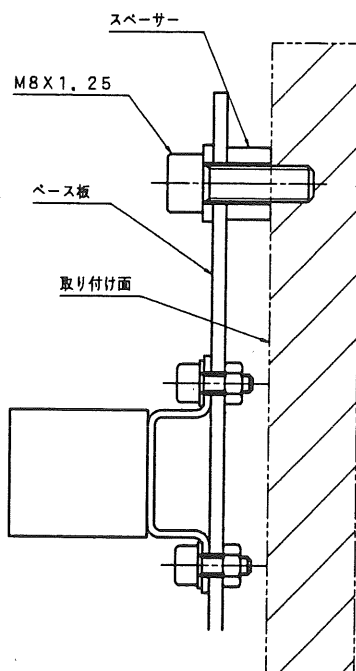


図-2

- ② エアーマーターの取り付けは、給気ホースに接続用金具（φ6）が取り付けられていることを確認してから、電磁弁に差し込んで下さい。

注意）電磁弁には、φ6ホース用ワンタッチジョイントが付いています。

- ③ 電磁弁の電線にDC 24 Vの直流電圧を出せる機器に接続して下さい。
（NC旋盤の場合、M信号出力のDC 24 Vに接続して下さい。）
- ④ オイル不足警告ブザーの電線にDC 24 Vの直流電圧を接続して下さい。
- ⑤ フィルター部のエアホース用コネクタにエア配管用ホースを接続して下さい。
- ⑥ コンプレッサからエアを送り、レギュレータでエア圧力を3～6 kg f / cm²に合わせて下さい。
- ⑦ ルブリケータの給油量調整は、エアーマーターを回転させ調整ネジを反時計方向に回し、一度全開にしてから調整ネジを時計方向に回しサイドドームを見ながらオイルの点滴量を25～35滴／分にし、エアーマーターを2台使用の場合には、55～65滴／分に合わせて下さい。

危険

1. ホースの接続は確実にこなって下さい。
使用中ホースが外れるとホースが暴れ大変危険です。
2. エア配管用ホースの常用使用圧力は、10 kg f / cm²以下となっていますのでコンプレッサの作動力が10 kg f / cm²以上の場合は危険です。
コンプレッサの作動圧力が10 kg f / cm²以下であることを確認してから接続して下さい。

7 点 検

① オイル滴下量

エアーツールを適正圧力で回転させ、適正滴下量に合わせて調整して下さい。
左回しが増量で右回しが減量です。（図-3）

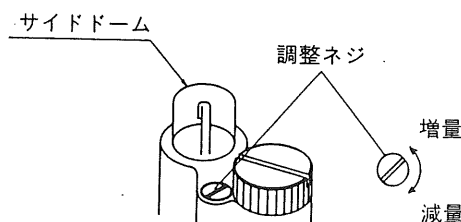


図-3

② オイルの抜き取り及び水抜き

オイルタンクの底の排油コックを反時計方向に回し、1ヶ月に1度オイルを抜いて下さい。
オイルタンクの中に水が溜ることがあり、故障の原因となります。
新しいオイルと入れ替えて下さい。

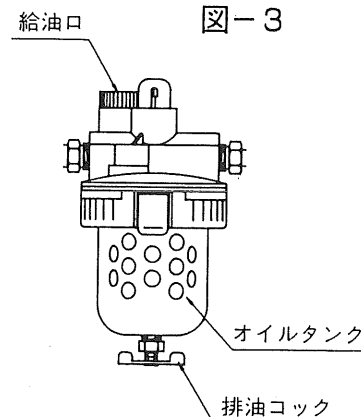


図-4

●改良のため、使用及び形状等は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。